



追悼 大楢守議長を偲ぶ

5月2日に急逝された大楢守議長に対し、
5月臨時会冒頭に黙祷を捧げた後、
鈴木政夫議会運営委員会委員長が代表し
追悼演説を行いました。

第二回棚倉町議会臨時会の冒頭にあたり、私は、皆様のお許しをいただき、去る五月二日にご逝去された故大楢守議長の御霊に対し、棚倉町議会議員一同を代表いたしまして、謹んで哀悼のこぼを申し上げたいと存じます。

この議場で私があなたへの追悼の言葉を申し上げることになるとは、私にとりましては、大変無念であり、今はもう、在りし日の温容に再び接することができないことは、議員一同惜別の情を禁じ得ないところであり、先月末、再び入院されたと聞いておりましたが、退院しましたら、いつもと変わらぬお姿を見せてくれるものと、堅く信じておりました矢先、あなたの訃報に接し、誠に痛恨の極みであります。

ここに立って在りし日のあなたのお姿を思い浮かべるとき、感慨無量のものがあります。

平成十九年十二月、若くして政治の道を志し地元有志をはじめ多くの町民に推され棚倉町議会議員として初当選して以来、常に支持者の声を大切に、町発展に大いなるご活躍をなされましたことは広く町民の知るところでございます。

この間、優れた知性と先見性、そして清廉潔白なる人柄をもって、建設経済常任委員会副委員長、厚生文教常任委員会副委員長、議会運営委員会委員長、そして、持前の手腕をいかんなく発揮され、民意を代表する、第十四代議会議長に就任し、同時に、東白衛生組合議長を歴任されました。町政に捧げられた情熱、そして、その尊い精神は、永久に議員仲間の記憶から消え去ることはないでしょう。



追悼演説する鈴木政夫議会運営委員長

あなたは、地域における業績も数多く、特に棚倉町立棚倉小学校、棚倉中学校のPTA会長をはじめ、棚倉町消防団副団長、棚倉町物産振興会副会長を歴任するなど、学校教育や地域発展に献身的な努力を尽くされた足跡は、広く町民の心に残るでしょう。

志半ばで亡くなられたあなたのご功績を偲び、生涯棚倉町を愛してこられたあなたの気持を引き継いで、残された私ども議員一同、より一層町民の幸せのために議員活動に精進することをお誓いいたします。

結びに、今は亡き大楢守議長の御霊のご冥福を心からお祈り申し上げます。ご遺族の皆様の前途に限りなきご加護を賜りますようお願い申し上げます。生前の大楢守議長の面影をしのび、心から安らかなご冥福をお祈りいたしまして、追悼の言葉とします。

平成二十九年五月二十五日
議会運営委員会委員長 鈴木 政夫

■大楢守議長の経歴 S31.12.20-H29.5.2 (享年60歳)

任 期	主 な 役 職
H20.1.1-	棚倉町議会議員として初登庁
H22.1.4-H23.12.31	建設経済常任委員会副委員長
H24.1.4-H26.1.3	厚生文教常任委員会副委員長
H26.1.4-H27.12.31	議会運営委員会委員長
H28.1.4-	第14代棚倉町議会議長

平成29年 第2回棚倉町議会臨時会開催

◆大楢守前議長のご逝去により、
5月25日に臨時会を開催し、議
長選挙等が行われました。

議長選挙結果

- 松本英一 8票
- 和知良則 5票

この投票の結果、第15代棚倉町
議会議長に松本英一新議長が誕生
しました。

任期は、残任期間の平成31年12
月31日までとなります。



松本英一 議長

議長就任のあいさつ

このたび、不肖私が、議員
の皆様のご推挙により議長の
重責に就任することになりま
したことは、身に余る光栄に
存ずる次第であり、衷心より
感謝を申し上げます。

私は、もとより浅学非才で
はありますが、皆様のご推挙
を受けました上は、前大楢議
長の意思を引き継ぎ、身を呈
して本町の発展と住民福祉の
向上に全力を傾注してまい
る所存であります。

任期中、町民の皆様のご協
力を心からお願ひ申し上げ、
議長就任のあいさつとさせて
いただきます。

◆松本英一前副議長の議長就任に
伴い、副議長が空席となつたた
め、同日追加議案を提出し議長
選挙に引き続き、副議長選挙が
行われました。

副議長選挙結果

- 蛭田卓雄 8票
- 近藤正光 5票

この投票の結果、第19代棚倉町
議会副議長に蛭田卓雄新副議長が
誕生しました。

任期は、残任期間の平成31年12
月31日までとなります。



蛭田卓雄 副議長

副議長就任のあいさつ

このたび、副議長選挙にあ
たり議員の皆様のご推挙によ
り副議長の重責に就任するこ
とになりましたことは、誠に
身に余る光栄であり衷心より
感謝申し上げます。

私は、浅学非才ではありま
すが、松本英一議長のもと、
副議長の職を汚さないよう、
責任を果たして参ります。

任期中、町民の皆様のご協
力を心からお願ひ申し上げ、
副議長就任のあいさつとさせ
ていただきます。

平成29年度 国民健康保険税率決定

《主な改正内容》

- ①軽減の所得算定式を改正し、5割軽減においては一人当たり26万5千円を27万円に、2割軽減においては一人当たり48万円を49万円に引き上げ、軽減範囲を拡大。
- ②前年分所得・固定資産税の確定に伴い、応能・応益によって負担する所得割等の国民健康保険税率改正並びに低所得者の軽減措置対象者の応益分税額の改正です。

■国保税率

		H28年度	H29年度	比較
※1 医療分	所得割	4.19%	3.96%	△0.23%
	資産割	17.80%	17.17%	△0.63%
	均等割	18,800円	19,000円	200円
	平等割	14,500円	14,400円	△100円
	限度額	540,000円	540,000円	0円
※2 後期高齢者 支援金分	所得割	2.32%	2.14%	△0.18%
	資産割	9.85%	9.29%	△0.56%
	均等割	10,400円	10,300円	△100円
	平等割	8,000円	7,800円	△200円
	限度額	190,000円	190,000円	0円
※3 介護分	所得割	1.97%	1.87%	△0.1%
	資産割	12.34%	11.27%	△1.07%
	均等割	12,700円	11,800円	△900円
	平等割	6,900円	6,300円	△600円
	限度額	160,000円	160,000円	0円

■年間平均保険税

		H28年度	H29年度	比較
医療分	1世帯あたり	80,762円	79,318円	△1,444円
	1人あたり	44,942円	44,913円	△29円
後期高齢者 支援金分	1世帯あたり	43,482円	41,760円	△1,722円
	1人あたり	24,197円	23,646円	△551円
介護分	1世帯あたり	36,563円	34,178円	△2,385円
	1人あたり	28,921円	27,410円	△1,511円

【用語解説】

- ※1 医療分 → 主に医療給付などに充てられるための保険税
- ※2 後期高齢者支援金分 → 75歳以上の後期高齢者医療制度を支援するための保険税
- ※3 介護分 → 被保険者の40歳から65歳未満に課税される保険税

平成29年 第3回棚倉町議会定例会開催

第2回臨時会において 専決処分5件の承認・ 白河地方広域市町村圏 整備組合議員の選挙など

※
《専決処分の報告及び
その承認について》

○棚倉町一般会計補正予算
平成28年度一般会計の事業確定による補正です。

○棚倉町国民健康保険
特別会計補正予算
療養給付費の確定見込みによる減額や出産育児一時金などの事務事業の確定による減額補正です。

○棚倉町後期高齢者医療
特別会計補正予算
保険料収入額の増に伴う広域連合納付金の増額補正です。

○棚倉町霊園整備事業
特別会計補正予算
永代使用料収入を一般会計へ繰り出すための増額補正です。

○棚倉町税条例の一部を
改正する条例
地方税法の一部を改正する法律等が平成29年3月31日に公布されたことに伴い、主に軽自動車税のグリーン化特例の2年延長等の改正です。

※ 専決処分とは？

本来、議会が議決すべき事項を緊急で議会の招集を待てない場合などに町長が代わって意思決定をすることを言います。



◆東白衛生組合議員の
選出について
松本英一議員が
選出されました。

◆白河地方広域市町村圏整備
組合議員の選挙について
蛭田卓雄議員が
指名されました。



広報委員会のメンバー

福島県町村議会議長会主催の広報クリニックが、5月22日に郡山市ビックパレットふくしまで開催されました。

広報編集常任委員会活動報告



「棚倉保育園新園舎建設補助事業費」

ほか6件を平成29年度へ繰り越し

案議
審議

平成29年度へ
7件の事業を繰り越し

平成28年度内に支出完了することが出来ない事業について、平成29年度へ繰り越しして実施する事業の内容が報告されました。
一般会計では、棚倉保育園新園舎建設補助事業費をはじめ、地方創生拠点整備事業費など、合計7件の事業を繰り越しました。
その他、上水道事業会計については、国道道路改良拡幅工事に伴う、配水管布設替工事繰越しの報告がありました。

《一般会計》

- 〔総務費〕
◇地方創生拠点整備事業費
◇個人番号カード交付事業費
〔民生費〕
◇臨時福祉給付金経済対策分 給付事業費
◇棚倉保育園新園舎建設補助事業費
〔農林水産業費〕
◇放射性物質吸収抑制対策事業費
◇ふくしま森林再生事業費
〔教育費〕
◇幼稚園大規模改修事業費

正算
補予

学校施設維持管理費など
一般会計1千319万4千円を増額

《一般会計》(主な事業を掲載)

- ◎学校施設維持管理費 284万円
社川小・近津小の特別教室LED化工事事業
◎コミュニティ推進事業費 250万円
御田植保存会が取り組む備品整備事業

- ◎まつり事業助成金 100万円
わくわく東白川ご当地キャラ祭による事業

- ◎地方創生事業費 200万円
空き店舗を活用した移住・交流拠点整備支援事業



6月補正予算の状況

会計名	補正額	補正後の予算額
一般会計	1,319万円	64億6,419万円
国民健康保険特別会計	△1,005万円	17億2,110万円
1万円未満切り捨て		

《国民健康保険特別会計》
歳入
本算定に伴う国保税や、医療給付費交付金及び、平成28年度決算余剰金繰越金などの補正です。
歳出
保険給付費等の補正や、後期高齢者支援金・介護納付金及び共同事業拠出金などの納付額の補正です。

条例の一部改正等

◇棚倉町国民健康保険条例の一部を改正する条例

地方税法施行令の改正に伴い、低所得者の軽減措置に係る軽減判定所得の算定方法などの改正を行いました。

また、前年分所得や固定資産税の確定に伴い、本算定での税率と併せて低所得者の軽減措置対象者の応益分軽減税額が変わりました。

その結果、前年度と比較すると医療費分は、一世帯当たり1.79%の減、一人当たり0.06%の減。後期高齢者支援金分は、一世帯当たり3.96%の減、一人当たり2.28%の減。介護納付金分で、一世帯当たり6.52%の減、一人当たり5.22%の減となりました。

請願

「国の『被災児童生徒就学支援等事業』の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書」の提出を求める請願書

請願者

- 福島県教職員組合
中央執行委員長 角田 政志
(紹介議員：佐川裕一)
《付託委員会》
厚生文教常任委員会
《結果》
採択
《提出先》
文部科学大臣・復興大臣・総務大臣・財務大臣

「東京電力福島第二原子力発電所の廃炉について」の意見書の提出を求める請願書

請願者

- 東白川地方憲法を考える会
代表世話人 宮崎 正利
(紹介議員：近藤正光)
《付託委員会》
建設経済常任委員会
《結果》
採択
《提出先》
内閣総理大臣・経済産業大臣・復興大臣・衆議院議長・参議院議長



担当職員に聴き取りをしながら監査を行う様子

決算審査が行われました。
(7月24日～8月7日までの6日間)

藤田啓一朗代表監査委員及び、藤田智之監査委員により、各課担当職員から聞き取りをしながら、書類等のチェックを行い、適正に執行されているか確認しました。

町政を問う

6月定例会では8人の議員が登壇し質疑を行いました。今回は、それぞれの分野で、多岐にわたり質問がされました。次のページからは、要点をまとめて掲載してあります。

1 近藤正光 議員 …… 10ページ

1. 除雪機購入補助の考えはあるのか
2. 町民プールの建設を問う
3. 県道黒磯棚倉線の日向前・富岡地区歩道整備を問う

2 古市泰久 議員 …… 11ページ

1. 町歌を制定する考えはあるか
2. 歴史まちづくりの一貫した政策を展開すべきでは
3. 公共施設等総合管理計画の指針を問う

3 佐川裕一 議員 …… 12ページ

1. 新保育園舎の概要を問う
2. 町の奨学金制度を問う
3. 老朽化した街路灯対策は

4 藤田智之 議員 …… 13ページ

1. 教員の長時間勤務はあるか
2. 新たな町営墓地の計画は
3. GPS徘徊対策機器の導入は

5 鈴木政夫 議員 …… 14ページ

1. 棚高跡地の活用計画は
2. イノシシ駆除対策は万全か
3. 給食費補助、このままでもいいのか
4. 防犯灯の設置については、もっと積極的に実施すべきでないか

6 藤田光子 議員 …… 15ページ

1. 桜清水周辺の環境整備は
2. 子どもセンター出入り口の安全確保は

7 菊池忠二 議員 …… 16ページ

1. 救急車及び救急医療体制は
2. 物産振興会はイベントの出店、亀ちゃん便等、風評を払拭するために活躍しているが
3. 田楽橋周辺の交渉の進捗状況は
4. 必要な議会にするための町議会改革の御所見は

8 佐藤喜一 議員 …… 17ページ

1. JA本部移転に伴う豊川橋拡張計画は
2. 空き家バンクの推進は
3. 林道流、岡田線を利用したマツダラリーの開催は



経営状況報告

町が出資している法人・団体である、株式会社ルネサンス棚倉、一般財団法人棚倉町活性化協会、白河土地開発公社から、平成28年度における経営状況が報告されました。なお、株式会社ルネサンス棚倉における経営状況は次のとおりとなっています。

株式会社ルネサンス棚倉

～損益計算書・事業報告より～

◇ 利用総額

宿泊、研修室、クアハウス、プールなどの利用者から納入された総額
…………… 1億4,767万円

◇ 売上金から

レストラン・売店などの賃貸料
…………… 1,145万円

◇ 町内業者からの仕入れ状況

食材の900万円をはじめ、燃料費など
…………… 6,400万円

◇ 東京電力からの賠償金

…………… 1億814万円

◇ 開催した主なイベント

ソフトテニス大会、硬式テニス大会、秋の収穫祭、水泳大会等

◇ 主な実績

宿泊延べ人数	18,688人 (333人減)
売上高	2億3,005万円 (484万円減)
当期純損失額	2,498万円 (3,028万円増)
累積赤字額	1億6,505万円 (2,499万円増)

()内前年比

○経営状況報告の後、各議員より東京電力からの賠償金の問題や、利用者を増やすための対策などの意見が出されました。



問 除雪機購入補助の考えはあるのか

答 現在のところ補助の考えはない



除雪の人力対応困難な上台地区の通学路歩道

町長 現在のところ除雪機の購入補助は考えていない。しかし地域の実情はそれぞれ異なり、人家のない区間や高齢化に伴い人力では困難な地域もあるので、今後、歩道の除雪のあり方については検討する必要がある。

問 昨年11月に設置した棚倉町通学路安全対策推進会議の概要は

教育長 学校関係者・交通関係者・道路管理者で組織し、通学路交通安全プログラムを策定し、関係機関と年1回の合同点検を実施し、児童・生徒が安心して通学できるように通学路の安全確保対策等について連携を図っている。

問 通学路の歩道の距離が1km以上で、人力で除雪ができないところの対応は

整備課長 地域の活動を支援する対策として、どのようなものが効果的かを十分考慮して今後検討していく。

問 町民プールの建設を問う

答 第6次振興計画の中で検討する

問 今年の夏は猛暑が続くと言われており、町民プールの建設については前回の質問で教育長は本気で検討すると答弁されたが、未だに現実的な計画は示されていない。郡内で町民プールが無いのは当町だけで小さい子どもを持つ保護者等から町民プールが欲しいという要望が数多く出ている。町民プール及び幼稚園児以下の水遊び場の建設を考えているのか。

教育長 第6次振興計画実施計画において十分な調査研究をし検討する。

問 県道黒磯棚倉線の日向前・富岡地区歩道整備を問う

答 平成29年度完成である



歩道整備中の富岡地区



近藤 正光

問 町歌を制定する考えはあるか

答 時期や活用を含めながら検討する

問 合併60周年事業として対応することも考えられる。町歌は棚倉町が存在する限り絶対不滅のもの。町民の心の拠り所として制定を提案するが。

町長 活用を含めながら検討していく。

問 どのような支援体制をとるのか。

町長 大いに応援していきたいと考えている。

問 八槻都々古別神社に歴史の駅を計画しているが、馬場都々古別神社に対する計画はあるのか。

地域創生課長 財源的な問題も踏まえながら、今後、歴史的風致維持向上計画に含めていきたい。

問 伝統野菜や歴史的食の再現による町おこしの考えはあるのか。

町長 棚倉藩時代の食の復元作業に取り組み御膳弁当として再現した。

問 戊辰戦争の時、十六ささげ隊の命名の元になった、ジウウ口フササゲ等の伝統野菜の種子の発掘、伝承についての考えはあるのか。

生涯学習課長 文化財を調査する中で、今後、具体的な検討をしていく。

問 棚倉の昔ばなしの続編と棚倉歴史かるたの発刊の意向があるのか。

教育長 棚倉の昔ばなしについては、民間団体が作成したものである。町としては関わっていない。

問 棚倉かるた発刊の計画はない。

問 検討するという姿勢になるべきことが歴史的町づくりの第一歩ではないのか。

町長 子どもたちの歴史の勉強に必要なものであれば、改めて再版するとか作り直すこともキャリア教育の中で考えていくべきである。

問 ふるさとガイドの活用と、今後の取組みは。

町長 イベント時や観光客からの依頼があった時に活躍している。今後は更に観光ガイド育成事業を充実させ、運営の組織化に取り組む。



更なる活躍が期待される観光ガイド



古市 泰久

問 公共施設等総合管理計画の指針を問う

答 既存施設の長寿命化を中心に施設を展開する

問 老朽化した施設の維持管理と財政負担は。

町長 老朽化の進行に伴い、財政負担の増大が予想される。

問 実施計画に基づく対応が必要ではないか。

町長 町振興計画の実施計画の中で検討していく。



問 全国的に、過労死ラインを超える程の小中学校教員の長時間勤務が問題視されているが、当町での状況は。外部指導者の導入などの対策に今後取り組んで聞かざるか。

町長 今年度の教職員の勤務状況調査では、年度当初では文書処理業務などで長時間勤務になりがちだが、過剰な状況の学校は無い。校長のリーダーシップのもと適正化に努めている。新たな教育課題や生徒指導、部活動などが、長時間勤務の要因となる現状はある。中学校の部活動では、1週間に2日間休みにする様指導している。外部指導者の導入は国の制度化を機会に検討していきたい。

町長 新たな墓地については振り、新たな墓地の提供を望む声も多い。これまで検討するとの答弁はあったが、具体的に取組むべきであり、共同墓等の研究や高齢者等への相談窓口も必要ではないか。

問 新たな町営墓地の計画は具体的な計画までは至らない

答 町営の墓地は完売状態であり、新たな墓地の提供を望む声も多い。これまで検討するとの答弁はあったが、具体的に取組むべきであり、共同墓等の研究や高齢者等への相談窓口も必要ではないか。



全て契約済みの町営墓地

問 教員の長時間勤務はあるか

答 過剰な状況の学校は無い

問 GPS徘徊対策機器の導入は

答 取り組む予定はない

町長 高齢者の徘徊、行方不明などが今後、増加するものと思われる。どの様に対策するか。GPS徘徊対策の機器の導入なども検討してはどうか。

町長 早くやれるものは早くやる考えで、様々な検討はしているが、具体的な発表ができる状態にはない。

町長 10年間の振興計画で、いつやるのかも分からない。具体的な考えを示すべきでは。

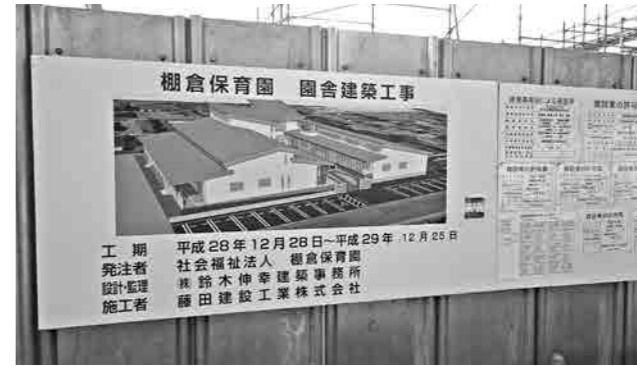


藤田 智之

町長 認知症への理解を深める冊子を配布している。徘徊対策として郵便局や新聞販売店等、町内12の事業者と高齢者見守りネットワーク事業に関する協定を締結し協力頂いている。今後は関連部署と警察署、消防署等との連携も強化し安全確保に努めていきたい。また高齢者身元確認QRコード利用事業は現在8名が利用している。GPSの徘徊対策機器は、常時身に付けていないと効果がないなど課題があるので、取り組む考えはない。



GPS徘徊対策機器



新保育園舎工事現場の完成予想図

問 新保育園の敷地・建物の概要と特色は。

教育長 敷地面積は約3253平方メートル、建物の概要は、木造平屋建て建築面積は約1325平方メートル、ゼロ歳児から3歳児までの年齢ごとに保育室7部屋を設置。屋内遊戯室、事務室、調理室等を整備予定。



町長 濃厚生病院の中の施設に保育園のような施設を設けることなどを考えていかなければならぬだろうと思っている。

施設の特徴として、各保育室に南側からの光を取り入れるために中庭を設置し、また、内部の仕上げとして無垢材を多く取り入れ、温かみのある保育室としている。さらに、トイレ脇には専用のオムツロッカーを設置し、換気にも配慮し清潔が保持される設計である。

町長 奨学金制度の内容は。奨学資金の基金を設置しており、平成28年度末の基金総額は、2857万8千円で、うち貸付額は1483万2千円。貸付の条件としては、大学又は県内の高等学校に在学し、品行が正しく、学術に優れ、身体が健康であることになつており、能力があるにもかかわらず、経済的な理由で修学が困難であると認める学生に対し貸し付けるものである。貸付の金額は月額で、大学生が5万円以内、高校生が1万5000円以内でいずれも無利子の貸付であり、卒業後6ヶ月経過後から10年以内で返還することになつている。

問 町の奨学金制度を問う

答 無利子の貸付であり、卒業後6ヶ月経過後から10年以内で返還

町長 老朽化している街路灯数は。すずらん灯の街路灯は144基あり、その大半が昭和40年代に設置され、設置から30年以上が経過。

問 老朽化した街路灯対策は

答 街路灯組合連合会の事務局である町商工会と連携しながら支援に努めていく



佐川 裕一

町長 町として新規の設置や支援は。

町長 町による街路灯の新規設置については計画はないが、街路灯組合等が設置する場合には、棚倉町街路灯設置事業補助金により、設置に要した工事費の3分の1を補助する。

問 棚高跡地の活用計画は 答 町として具体的な計画はない

問 棚高跡地の活用について県に対してどのような働きかけをして、どのような回答があったのか。また、県に要望する前提として、町の活用計画・事業計画はどの様になっているのか。

町長 この敷地については、企業誘致・福祉施設・住宅団地などの活用が考えられるが、県に対しては旧校舎の早急な取り壊しを要望しており引き続き交渉していきたい。なお、町としての活用計画は持っていない。

早急に活用計画を検討したい。

問 活用計画などはこの部署で立案するのか。

地域創生課長 地域創生課が担当し、振興計画で決めていきたい。



利用計画が決まっていない棚高跡

問 イノシシ駆除対策は方
全か

答 県にも支援を要望し全力を尽くす

問 イノシシの駆除は全国的に大問題となっており、町としても人も規模も大胆に対策を拡充しないと、増え続けるイノシシ駆除対策にならない。

今年度は、どのような対策を検討しているのか見解を求めます。

町長 今年度は有害で100頭分、狩猟捕獲として40頭分を計上し、当初予算比で20頭分増額した。対策は非常に難しいが、県等に支援を要望し対策に努めたい。



問 給食費補助、このままでいいのか

答 財源と優先順位から実施はしない

問 学校給食費負担軽減について郡内の町村や近隣の町村では軽減策を取っているなかで、我が町だけがなにもやらないのは、若い世代の定住促進にもマイナスになりかねないと思うが、町としての見解を求めます。

教育長 学校給食費の負担軽減は子育て支援のひとつと考えているが、財源や優先順位の関係で実施できないと考えている。

問 防犯灯の設置については、もっと積極的に実施すべきでないか

答 予算の範囲内で設置をしているところである



藤田 光子

問 桜清水周辺の環境整備は 答 施設の維持管理の中で行う

問 石垣が草木などで覆われている桜清水の現状に対しどのような感じているのか。

教育長 当時をしのばせる情緒ある風情を残し今日に至っている、自然のまま後世に残す事が重要と認識している。

問 先人から受け継いだ大変貴重な歴史ある場所として、後世に残し伝えていくべきと思うが。

教育長 赤館城主の立花宗茂が桜清水として名付け、愛用していたと言われている事や、棚倉小学校校歌の一節にも詠まれている事から、棚倉小学校では、毎年12月の創立記念日に、校歌に詠まれている歌詞の意味を教諭が伝え、児童と共有する取り組みを行っている。

問 町民有志の方々により設置されている石造りの休憩処などを大切に、定期的に清掃をするなどの考えはあるのか。



棚小 桜清水の石柱

問 棚倉小学校の校歌に歌われている桜清水周辺の環境整備について町はどのような管理をしているのか。

教育長 毎年8月頃にPTAによる環境整備作業、OBの方々によるボランティア作業、児童委員会による作業として学校施設維持管理費の中で環境保全に努めている。

問 子どもセンター出入り口の安全確保は

答 引き続き町道の改修を含め、安全確保について関係部署において協議を進めている

教育長 桜清水周辺の整備については、今後も、OBや学校関係者等によるボランティア活動、学校施設の維持管理の中で、石造りの休憩処等を含めた環境整備を行っていきたいと考えている。

問 昨年9月定例会においての質問に対し、回答の得られない危険な子どもセンターに行くための道路横断箇所について、これまでどのような協議をされ状況把握し、安全確保についてどのような答えをだされたのか。

教育長 子どもセンターを利用する保護者の中には町道西側の側溝が開渠となっている側を通行している方もいたので、町道の東側を通行するようお知らせを掲示、横断歩道については、公安委員会に確認の結果、設置基準に照らし、待避所がないため現状では難しいとのことであった。引き続き町道の改修を含め安全確保について協議をすすめているところである。



子どもセンター前の危険な道路



鈴木 政夫

問 救急車及び救急医療体制は 答 県南4病院の輪番制で対応

問 休日の当番医療機関の報酬は。

町長 東白川郡医師会に業務委託し4町村で分担金を拠出している。

問 当町の医療機関と夜間診療についてのルールは。

町長 町内の医療機関に夜間診療はお願していないのでルールは無いが緊急時の対応は白河地方広域市町村圏整備組合が第2次救急医療体制を整備し運営されている。健康福祉課長 町内のお医者さんの好意により夜間診療をして頂く場合もある。

問 救急車が出動した際、病院探しに時間がかかっているのか。

町長 白河地方第2次医療救急医療運営協議会で病院の医師が専門外である事、手術や患者対応の為受け入れが困難な場合もあると聞いている。



大好評の亀ちゃん便

問 物産振興会はイベントの出店、亀ちゃん便等、風評を払拭する為に活躍している成果は

答 より多くの消費者に物産品や農作物の販売を通して安全、安心をPRし風評被害払拭の成果があった。亀ちゃん便は28年度に881セット販売

問 棚倉町ブランドそのものの格上げやPRの施策は。
町長 2年ごとの更新時に品質の点検や改善、PRについてはイベントや亀ちゃん便、ふるさと納税の返礼品に活用。
問 豆腐の角に頭ぶつけて生きる#TANAGURAの映画の再映や計画は。
地域創生課長 版權が吉本興業のため、今後は吉本興業と協議する。

問 十万石棚倉城まつりなど大きな幾つかのイベントの経済効果は。
地域創生課長 町の振興、活性化風評の払拭を目的とした補助金を活用した事業だが、今後は直接経済効果が出るイベントについても検討する。

問 町内各所で行われているイベントに使用目的を決めない交付

金の出し方は。
町長 公金なので使用目的は制限されると思う。

問 田楽橋周辺の交渉の進捗状況は
答 購入単価の交渉中

問 橋の架け替えによる解決はあるのか。
町長 架け替えだけでは解決にならない。

問 必要な議会にする為の町議会改革の御所見は
答 議会改革が住民の為に、有意義になるよう期待する



問 JA本部移転に伴う豊川橋の拡幅計画は 答 補修する橋梁として計画あり

問 京セラ棚倉工場跡にJA東西しらかわ本部が移転することになり町道下町、中豊線の豊川橋の拡幅が要望されているが。

町長 老朽化も進んでおり、橋梁点検の結果、損傷もあることから補修する橋梁として計画している。

問 町道桜下、観音前線の水郡線観音様踏切についても、幅員が狭く車両が交差できないので拡幅して交通体系の向上が必要と思われるが。

町長 踏切の拡張は非常にハードルが高く拡幅が進んでいないのが現状だが、今後とも鉄道事業者であるJR東日本旅客鉄道と協議していく。

問 JR東日本側との協議についてはどの程度行っているのか。
整備課長 定期的な協議は行っていないが、昨年の6月と今年の2月にJR東日本水戸支店の担当者との協議をしている。



拡幅が待たれる豊川橋



問 JA東西しらかわ本部移転により、町税である固定資産税が減免されるのか。
税務課長 農業協同組合が所有する事務所・倉庫など、規定に該当する建物は固定資産税が非課税となる。

問 空き家バンクの推進は
答 町内の宅建業者と協定を結び連携する

問 町内での空き家の現状と今後の予想は。
町長 平成27年度で256軒の空き家があり、高齢者の一人世帯がこの数以上にあるので今後も増加すると思われる。

問 町内における空き家バンクの設置、運営の方針は。
町長 町要綱で定めた制度を活用すると共に、町内の宅建業者間でつくる組織の立ち上げ等があれば、協定を結び連携していくことも調整していきたい。

問 空き家活用の補助事業はどの様なものがあるのか。
地域創生課長 まち・ひと・しごと創生総合戦略の一環として空き家に対する補助、棚倉町定住



促進のための空き家改修補助を策定している。

問 林道流、岡田線を利用しているマツダラリーの開催は
答 今年度は、日程の調整がつかず断念

問 来年度以降の計画は。
町長 今年は国際大会などの影響で開催日程の調整がつかなく断念したが、次年度以降の開催は強く要望していく。

問 コース上の林道に、松くい虫による被害で倒木が見られて通行に支障があるが。
産業振興課長 支障をきたしていることを確認した際は、担当の産業振興課へ通報してもらえらるよう周知している。



佐藤 喜一



菊池 忠二

只見町議会 へ訪問



去る、5月17日(水)に只見町議会へ研修に行つてまいりました。

研修の目的は、通年議会制とはどのようなものであるのか、メリットやデメリットを聞きながら意見交換を行いました。

まず報告をさせて頂く前に、道中、今話題になっております復活を待ちわびる只見線の線路沿いを通り、その脇にはS&S機関車を待つ数十人の方々がその線路脇に待機し、カメラを構えていました。それと合わせて、景観の素晴らしい山間と川幅100m以上ある雄大な只見川を横目に只見町に入り、只見町議会では、正副議長を始め、各常任委員長の出迎えを受け研修に入りました。

各議員より中間報告書を提出してもらい、その内容を基に報告書をまとめました。

《通年議会の運営にあたって評価された内容》

議長が必要に応じて執行部と協議のうえ議会を開催できることは、議会が主導的に活動できる点において共通の認識を得られたと思われ。

特に年間を通じた活動で、突発的な事案、災害などにも対応できるほか、常任委員会の活動の制限も緩和され活性化されることよって、町民による議会活動の理解と評価が高まるという点でも認識が共有できたと感じました。



只見町の研修の様子

《通年議会の運営にあたってマイナスと感じられた内容》

マンネリ化や、議会事務局と議員の負担が増えるのではないかと。また、通年議会導入する意義がよく分からない等の意見があった。

また、通年議会を導入した場合の議員の負担が多くなるとの懸念については、時間にゆとりがなく、議会活動に専念できない人は立候補の段階で制限が生じるのではないかとこの意見があった。

《全体的な感想》

通年議会を実施している只見町においては、マイナス面よりプラス面がかなり多いと報告書を通じて感じられた。

また、通年議会は執行部にとっても議員にとってもマイナ



入な面は無く、特に議員にとつては前向きに活動できるチャンスになるとの意見の一方で、通年議会の導入は必要ない、現状のままでも良いとの意見がありました。

議会運営委員会

委員長 鈴木政夫



議員控室での意見交換

追記

これからも、研修や議員間での意見交換を引き続き行いながら、県内・県外にも目を向け、慎重に検討して行きたい。

厚生文教常任委員会

◆ 棚倉町文化センターの運営と維持管理の状況と今後の課題について

1. 運営について

一部に利用頻度が低い施設も見受けられ、現状として施設全体の利用が減少傾向にある。同時に近隣町村や、特にルネサンス棚倉と連携した取り組みや各協会等との協議が不足ではないか。

今後、施設利用者の減少傾向に歯止めをかけるためには、利用料金設定の見直し、ルネサンス棚倉との連携強化、ネット予約などの積極的PR活動や広域的に連携をしたイベント等も必要でないか。改善のため運営検討委員会設置を提案したい。

2. 維持管理について

現在、優先事項を決め修繕を実施しているが、施設が20年以上経過し、特にクラックや雨漏り等による老朽化が非常に目立つ。今後、

維持補修費増加が予想されることや、維持補修が約5億円に上ることの説明があり、経費削減が今後の重要な課題である。

施設全体の状況を再度早急に把握し長期修繕計画書を作成し維持管理に対応する必要がある、運営とは別に専門家による総合的な検討委員会設置を提案する。

委員長 和知裕喜

建設経済常任委員会

◆ 棚倉町における企業の近々の経済情勢について

訪問企業

日立オートモティブシステムズハイキャスト(以下、日立OSHC(株))、(株)スズキ製作所、東洋シャフト(株)

① 3社とも生産動向は概ね好調である。

② 労働力の確保についても町内の従業員が半数以上を占めており、これらの方々への信頼は厚い。日立OSHC(株)は地元出身の大卒者も希望されているし、今のところ3社とも妥当な人員配置であるようだが、一方で、東洋シャフト(株)では他の業種への労働力流出の懸念はあるとしている。

③ 顧客先から、納期の短縮(リードタイム短縮)の要請や品質向上要求の圧力は3社とも依然強いが、コストダウン要求はひと段落している。しかし世界的情勢によっては予断を許さない。

④ 3社それぞれが「個性、魅力、能力」があり現在、第一線で活躍されている理由も頷ける。なお日立OSHC(株)より、単身赴任の方の住宅整備等についてお尋ねがあったことを記しておきたい。

以上、町内の労働力に大きな期待を寄せている。このような期待もあることから、引き続き愛郷心のある良い人材を供給できるように学校教育とも連携していかなければならないし、産業界と連携を図りながら取り組むべきである。

委員長 菊池忠二



生涯学習課長より説明を受けている様子



日立OSHCでの研修の様子

言わせて一言

人を・心を・時をつなぐたなぐらまちに

住む皆様にご意見、ご感想を伺いました。

年に4回発行される議会だよりは「この議員はこんな課題に関心があるのか」とか「現在町ではこのような事が進められているのか」という情報が有権者に知らせてくれる大事な広報誌です。「町会議員って何やってているの?」「町議会では何が話し合われているの?」ということについて普段考ええることは少なく、なんとなく他人事のような感じで、自分には関係ないことと感じている有権者も多いでしょう。しかし各議員の質問には我々町民一人一人に身近な課題があったり、棚倉町の未来を左右するような問題が議会で取り扱われていたりします。議会だよりをしっかりと読んで、次の町議員選挙では誰に投票しようとか、自分も地域のために活動してみようとか、積極的に行動するための指針として議会だよりを活用していきたいですね。

今後はフェイスブックやラインなども使い、より多くの町民に届くようなやり方にも期待しています。

古町にお住まいの
松本 一夫さん



瀬野にお住まいの
伊豆田 博さん
伊豆田 安子さん



私たち夫婦は、緑豊かな当町へ埼玉県から移住して15年になります。6月にNHKの「鶴瓶の家族に乾杯」で棚倉町が放映され、県内外からたくさんの方が来町され話題となっています。

赤ちゃんから高齢者まで安心して暮らせる「住むなら棚倉」を目指して、例えば、乳児から中学校までの保護者負担軽減、企業誘致による就労確保、そして高齢者用施設の充実や、高齢者に配慮した公共交通網の早期実現を行ったりどうでしょうか。

また、「歴史ある町」ですから、町外の人々に知ってもらうために「歴史資料館」は必要だと思います。

これからも、議員の皆さんの活躍で町民の要望が反映される議会であることを願っています。

あなたも議会を傍聴しませんか



傍聴の手続きは、役場庁舎3階の傍聴席入口で住所と名前を書きだけで、どなたでも傍聴できます。

9月定例議会日程のお知らせ(予定)

正式日程は、9月上旬開催予定の議会運営委員会で協議されます。

9月12日(火) 開会・本会議

9月13日(水)・14日(木) 一般質問

9月15日(金) 決算特別委員会・閉会

編集後記

今回は、冒頭から故大相守議長を偲ぶ紙面となりました。

故大相守議長は、町政の発展と地域の経済、教育、文化の発展のため献身的な努力をしてこられました。ご冥福をお祈りいたします。

さて、過日行われた都議選をきっかけに、日本の政治も大きく変わろうとしています。どのように変わっていくのか、期待と関心を持っていきたいと思います。

広報編集常任委員会

副委員長 鈴木 政夫



広報編集常任委員会

- 委員長 藤田 智之
- 副委員長 鈴木 政夫
- 委員 藤田 光子
- 委員 菊池 忠二
- 委員 近藤 正光